

### 第14回 砺波市美術協会 会員展

～4月8日(日)

※4月9日(月)～12日(木)は展示入替のため休館いたします

### 2018となみチューリップフェア特別展

#### 岳父 小野竹喬と下保昭

4月20日(金)～5月20日(日)

※5月14日(月)は休館いたします

小野竹喬の晩年に描いた「奥の細道句抄絵」を中心に、砺波市出身で竹喬の娘婿である下保昭(1927-)の大作とで会場構成し、33点で両者の作品世界を紹介します。  
観覧料:一般・高校生以上1000円/小・中学生300円/小学生未満無料 (企画展示室、常設展示室2)



小野竹喬  
《奥の細道句抄絵》  
田一枚種京て立ち去る柳かな  
1976年京都国立近代美術館蔵

### 収藏品展 第I期

5月26日(土)～6月10日(日) ※会期中無休

となみ野大賞作品を中心に近年収蔵した作品を紹介します。  
観覧無料 (企画展示室)



黒木明美《もの思ひ》2017

※6月11日(月)～15日(金)は展示入替のため休館いたします

### となみ野美術展2018

6月16日(土)～7月15日(日)

※会期中無休

砺波地方に在住する作家の美術展です。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門で展覧します。最優秀作にとなみ野美術大賞、優秀作に北日本新聞社賞が贈られます。  
観覧料:一般600円/高校生以下無料 (企画展示室、市民ギャラリー、常設展示室1・2・3)



昨年の展示より

(企画展示)

となみ野美術展2018  
6月16日(土)～7月15日(日)

※7月16日(月)～20日(金)は休館いたします

### 夏の子ども美術大会2018

7月25日(水)～8月19日(日)

※会期中無休

7/25～8/2にかけて実施するワークショップでは、家族みんなで参加できる体験講座を行います。作品は「こどもびじゅつてん」(8/4～8/19)で展示します。  
観覧無料 (企画展示室)



前回の展示より

### 郷土作家シリーズ14 堀田清 塑造展

8月25日(土)～9月23日(日)

※9月3日(月)は休館いたします

砺波市在住の彫刻家・堀田清(1933-)の女性像を中心に初期から現在までの作品を紹介します。  
観覧料:一般500円/高校生以下無料 (企画展示室)



堀田清《静子》1996

### 第14回 砺波市美術展<市展>

9月29日(土)～10月21日(日)

※会期中無休

砺波市在住、在勤、在学者を対象とした公募展です。優秀作品には市展大賞ほか各賞が贈られます。  
観覧無料 (企画展示室、常設展示室1・3)



昨年の展示より

※10月22日(月)～26日(金)は休館いたします

### 松尾敏男展

10月27日(土)～12月2日(日)

※11月12日(月)、26日(月)は休館いたします

院展を主な舞台として活躍し、2012年に文化勲章を受章した長崎県出身の日本画家・松尾敏男(1926～2016)の70年にわたる画業を生前自らが選んだ作品を中心に紹介します。  
観覧料:一般600円/高校生以下無料 (企画展示室、常設展示室2・3)



松尾敏男《夕雲》1991  
長谷川町子美術館蔵



【子どもの造形アトリエ】  
市内の小学校低学年、幼稚園(保育所)の年長児を対象に、クラス単位で美術館に親しむ造形あそびなどの体験講座を開催しています。

### 工芸の秀作 (館藏品展)

～4月8日(日)

### 工芸の秀作 (館藏品展)

4月13日(金)～6月10日(日)



芳里七朗《なびく》1986

### ロベール・ドアノー (写真)

～4月8日(日)

### 下保昭 (日本画)

4月13日(金)～6月10日(日)



下保昭《知床夕照》1997

### 森村泰昌 (写真)

～4月8日(日)

### 洋画の世界 (館藏品)

4月13日(金)～6月10日(日)



藤森義明《アドレション・アポストロ》2010

4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December

2019

1

January

### 収蔵品展 第Ⅱ期

1月5日(土)～1月27日(日)

※会期中無休

美術館の収蔵作品によるテーマ展示です。  
観覧無料 (企画展示室)



清原啓一《紫陽花に遊ぶ》2007

2

February

### 第20回 至高の精神展 川原和美

2月2日(土)～3月3日(日)

※2月12日(火)、13日(水)は休館します

県内で旺盛な活動を展開する美術作家の個展です。  
第20回目として高岡市在住の造形作家・川原和美  
(1969-)の作品を紹介しします。  
観覧無料 (市民ギャラリー)



川原和美《浮遊するものたち》2017

3

March

### 第15回 砺波市美術協会 会員展・ 安城文化協会交流展

3月9日(土)～4月7日(日) ※会期中無休

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門より、砺波市美術  
協会と安城文化協会の会員作品を紹介しします。  
観覧無料 (企画展示室、市民ギャラリー)



前回の展示より

◆記載事項に変更が生じる場合があります。詳しくは、美術館までお問い合わせください。

【アーティスト・トーク & 公開制作】  
出品作家による解説会や、作家の創作の現場が見られます。

荒木寛二《揮拭漆小卓》1997



万谷昌子《鏡・停機 No.7》  
2005



ロベール・ドアン  
《タテイの自転車》1950  
©Robert Doisneau

工芸の秀作  
(館蔵品展)  
2月14日(木)～



横山幸文《春光》1998

秋山庄太郎  
(写真)  
2月14日(木)～



秋山庄太郎  
《ウエスト・ポイント、紫水晶》  
1994

清原啓一  
(洋画)  
2月14日(木)～



清原啓一《争いを観る》1981